

2023～	福祉経営・マネジメント研究Ⅰ	単位数	履修方法	配当学年
		2単位	SR	1・2年
		担当教員	高橋 誠一	

※この科目は、2023年度以降入学者に対して開講されている科目です。2022年度以前入学者は履修できません。

■授業のテーマ

社会福祉法人マネジメントの規範的実証的検討

■授業の目的

社会福祉法人の社会的役割を理解し、福祉経営の理解を深める。さらに、その研究方法を理解する。

■授業の到達目標

- ・社会福祉法人の成立過程を理解したうえで、社会福祉法人の存在意義を説明できる。
- ・社会福祉法人制度の改革の背景を理解したうえで、社会福祉法人の新たな役割を説明できる。
- ・社会福祉法人の非営利性、公益性、先駆性、公平性について、具体的に説明できる。
- ・社会福祉法人のマネジメントについて、研究課題を見出し、調査研究することができる。

■授業の概要

本講義では、社会福祉法人のマネジメントについて、社会福祉法人制度の理解に基づき、社会福祉の視点からその公益性と先駆性を経営に生かす方法を学ぶ。社会福祉法人のマネジメントには、法人のガバナンスと機関のマネジメントに関わるテーマと社会福祉法人が行う事業や活動に関するテーマがあり、また、他の法人形態との比較における特徴をどのようにとらえるのか、歴史的、理論的、実践的な多面的検討が必要であるので、これらも含め理解を深めていく。

■在宅学修15のポイント

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
1	社会福祉における政府の役割	行政学、社会福祉学	テキスト1) 1章を読んでください。社会福祉における公的責任論と民間委託についても考えてください。
2	福祉サービスにおける準市場の条件	市場構造、条件整備	テキスト1) 2章を読んでください。規制緩和、民営化の理論的背景を理解してください。
3	社会福祉法人制度の設立	社会福祉事業法、シャウブ勧告、社会福祉事業、機関	テキスト1) 3章を読んでください。歴史的背景を踏まえて社会福祉法人制度の必要性を理解してください。
4	社会福祉法人制度改革	2016年社会福祉法改正、「内留保」問題	テキスト1) 3章を読んでください。できれば、2019年度の社会福祉法人改革についても調べてみてください。
5	イーコールフットィング論	競争条件格差、参入規制、補助金・税制優遇措置	テキスト1) 3章を読んでください。社会福祉法人に対するイーコールフットィング論がなぜ生まれたのか考えてください。
6	社会福祉法人の公益性概念	社会福祉法人の公益性モデル	テキスト1) 4章1、2節を読んでください。社会福祉法人における公益性の重要性を理解してください。
7	社会福祉法人のサービスの質	投入産出モデル、利用者満足	テキスト1) 4章3節、5章を読んでください。ヒューマンサービスについても調べてください。

	学修のテーマ	学修内容(キーワード)	学びのポイント
8	社会福祉法人の平等性	利用者負担の軽減	テキスト1) 4章4節を読んでください。 低所得者への軽減制度について具体的に調べてください。
9	社会福祉法人の社会貢献・合规性	社会福祉充実残額、貸借対照表、地域貢献事業計画	テキスト1) 4章5節を読んでください。 内部留保の計算方法とその概念を理解してください。
10	社会福祉法人設立時の特異性	競争条件格差の背景、公の支配、措置費	テキスト1) 4章6節を読んでください。 日本の戦後復興期における経済、政治状況と合わせて理解してください。
11	非営利組織としての社会福祉法人	非営利組織の経営、第三者による政府	非営利組織論から社会福祉法人の経営課題を考えてください。各自ネット等で調べてください。参考文献2) p.159-192を参考にしてください。
12	社会福祉法人の地域貢献	実践事例	実践事例を通して、社会福祉法人の社会貢献、地域貢献の具体的な取り組みを理解してください。各自ネット等で調べてください。参考文献2) p.104-158を参考にしてください。
13	社会福祉協議会のマネジメント	介護保険事業、地域福祉推進事業	社会福祉協議会と、施設運営を主とする社会福祉法人との違いを考えてください。各自ネット等で調べてください。参考文献3)を参考にしてください。
14	社会福祉法人の介護事業の経営	実践事例	介護事業経営における人材育成、組織づくりなどハード面だけでなくソフト面の取り組みについても考えてください。各自ネット等で調べてください。
15	社会福祉法人のマネジメント	講義全体のまとめ	社会福祉法人のマネジメントに関して留意すべきことをまとめてください。

■スクーリング事前課題（学修時間目安：30時間以上）

「レポート課題」の課題1について、「アドバイス」の課題1を参考にして、4,000字程度にまとめること（対面スクーリングの1週間前までに提出してください）。

■スクーリング授業計画

	授業の内容	授業の方法
1	社会福祉法人マネジメント分析のための基礎理論 基本的な理論的枠組みと理論モデルを学ぶ	オンデマンド
2	組織の経済学における取引費用アプローチ 組織の境界と市場対組織の関係性を理解する	オンデマンド
3	企業所有論 投資家所有やその他の所有形態や非営利性などの多様性を理解する	オンデマンド
4	経営経済学の分析理論①採用基準と適任者の採用 人的資本、スクリーニング、シグナリングの理論を理解する	オンデマンド
5	経営経済学の分析理論②能力への投資と離職管理 一般的人的資本、企業特有的人的資本の相違を理解する	オンデマンド
6	経営経済学の分析理論③組織の設計 意思決定と組織構造の関係について理解する	オンデマンド
7	経営経済学の分析理論④職務設計 テラー主義、内発的動機、チームの役割の関係について理解する	対面
8	経営経済学の分析理論⑤実績報酬 実績の評価、報酬、インセンティブの関係について理解する	対面
9	経営経済学の分析理論⑥キャリアアップとインセンティブ 昇進、キャリアアップとインセンティブの関係を理解する	対面

	授業の内容	授業の方法
10	経営経済学の分析理論⑦福利厚生と雇用関係 福利厚生と雇用関係における経営問題を理解する	対面

■スクーリング事後課題（学修時間目安：40時間）

「レポート課題」の課題2について、「アドバイス」の課題2を参考にして、4,000字程度にまとめること（受講した年度の1月までに提出。当年度の締切日を確認すること）。

■スクーリングの事前事後課題

課題1 (事前課題)	社会福祉における社会福祉法人の存在意義を論じなさい。
課題2 (事後課題)	福祉人材確保、福祉人材育成の取り組みを調べ、効果的と考えられる方策を論じなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス



社会福祉法人の成立過程から、社会福祉法人制度改革を経て、その都度社会福祉法人の存在意義が再検討されてきました。どのような課題に対して、どのような改革が行われてきたのかを明らかにする中で、社会福祉法人の存在意義を論じてください。



福祉人材確保、福祉人材育成に関しては、国などが政策として取り組んでいます。短期的な量的確保にとどまらず、長期視点に立った（法人理念にかなった）取り組みを考えてください。さらに、様々な社会福祉法人や非営利団体、営利団体の取組みも参考に考えてください。

■評価の方法・基準

- ・スクーリング50%、課題レポート50%

■参考文献（*印=大学から送付される必読図書）

- *1) 狭間直樹『準市場の条件整備 社会福祉法人制度をめぐる政府民間関係論』福村出版 2018年
- 2) 関川芳孝編『社会福祉法人制度改革の展望と課題』大阪公立大学共同出版会 2019年
- 3) 宝塚市社会福祉協議会編『市民がつくる地域福祉のすすめ方』CLC 2018年
- 4) 関川芳孝編『社会福祉法人はどこに向かうのか』大阪公立大学共同出版会 2021年
- 5) フレデリック・ラルー『ティール組織 マネジメントの常識を覆す次世代型組織の出現』英治出版 2018年
- 6) 全国社会福祉協議会『問い直される社会福祉法人 社会福祉法人の在り方等に関する検討会報告書を読む』全国社会福祉協議会 2014年
- 7) 全国社会福祉法人経営者協議会編『改訂増補 社会福祉法改正のポイント これからの社会福祉法人経営のために』全国社会福祉協議会 2016年
- 8) 菅田正明ほか編著『Q&A 社会福祉法人制度改革の解説と実務 平成29年度全面施行対応版』ぎょうせい 2017年
- 9) ラジャー、ギブス『人事と組織の経済学 実践編』日本経済新聞出版社 2017年
- 10) ハンスマン『企業所有論 組織の所有アプローチ』慶應義塾大学出版会 2019年
- 11) 黒木淳『非営利組織会計の実証分析』中央経済社 2018年
- 12) 伊藤秀史ほか『組織の経済学』有斐閣 2019年
- 13) 田口聡志『教養の会計学 ゲームと実験でデザインする』ミネルヴァ書房 2020年
- 14) 新原浩朗『組織の経済学のフロンティアと日本の企業組織』日経BP 2023年